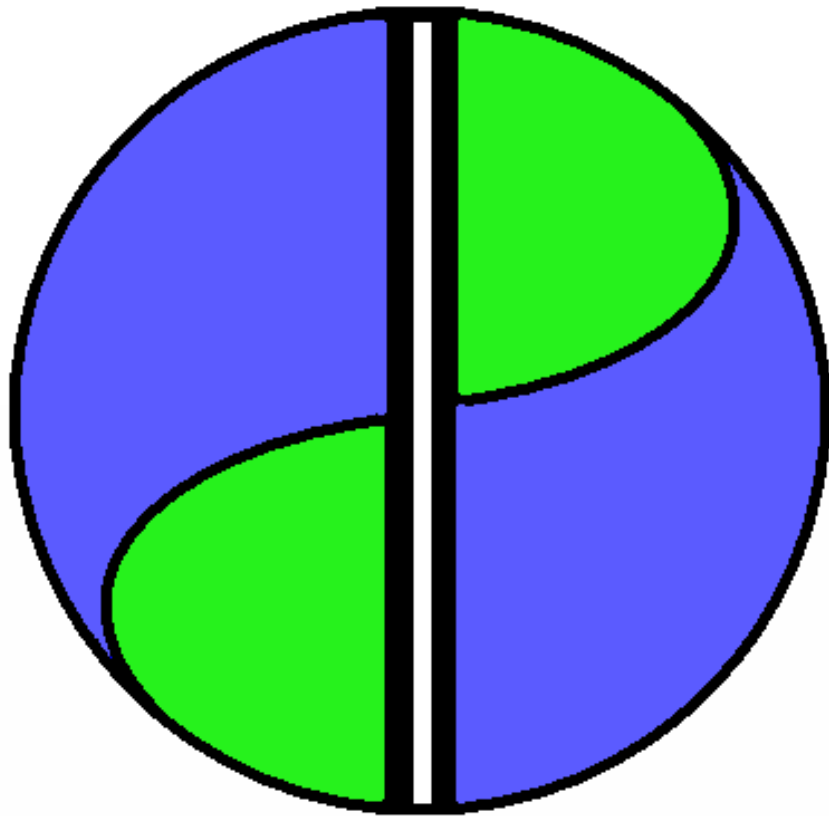


# ドリームプロジェクト

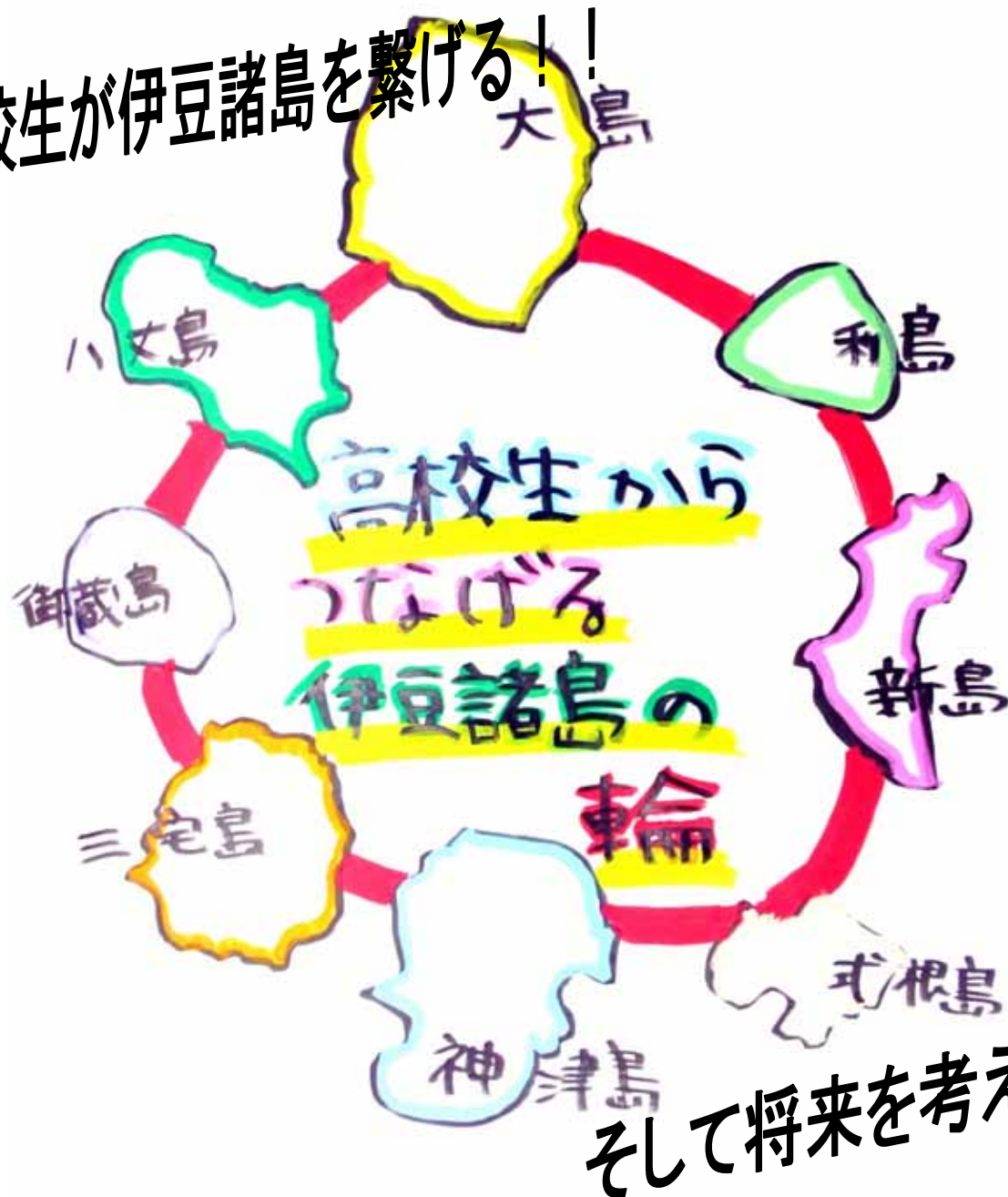
～ 高校生から繋げる伊豆諸島の輪～



今、伊豆諸島の高校生が熱い!!!

主催：東京都立大島海洋国際高校ドリームプロジェクト実行委員会

高校生が伊豆諸島を繋げる！！



私たちの暮らす伊豆諸島は海の恵みや森の緑に囲まれている自然環境が残されています。その自然と共に各島々の文化、伝統というものが長い間受け継がれてきました。

しかし現在、地球環境の変化や開発の影響を受けて、伊豆諸島の海にはさまざまな問題が起こっています。地場産業の疲弊により人口減少が起こっており、郷土芸能も衰退の傾向を見せています。

この状況の中で伊豆諸島を活性化するためには島同士が協力することが大切になってくると思います。にもかかわらず、現在島と島との繋がりというものほとんどありません。将来の伊豆諸島を作っていくのは今の若者たちです。これらの問題を解決するには若者たちの意識を変えていかなければならないと考えます。

そこで島に暮らす高校生がこうした問題に目を向け、高校生同士で話し合うことで自分たちの将来を見つめ、出会いの機会を作りたいのです。

東京都立大島海洋国際高等学校  
ドリームプロジェクト実行委員長 穴原航太郎

# プロジェクト見取り図

プロジェクトによって解決したい課題と社会的意義

- ・ 伊豆諸島の島同士のつながりの少なさ  
海や森など共通点を持っていながら協力できていない。  
近いようで遠い存在になっている。
- ・ 人口減少と若者の島離れ  
島の人は東京の方ばかり見ている。



上記の課題を解決するために用いる方法

- ・ 三日間の交流会  
二泊三日間でリクリエーション、大島海水浴
- ・ シンポジウム  
伊豆諸島の現状、若者の島における役割、伊豆諸島の将来十年後構想  
についての討論。  
事前・事後の意識アンケート。



上記の方法を実行に移すことによって、  
社会(人や制度)に期待したい建設的な変化

- ・ 伊豆諸島が抱える問題点やその利点について、各島の若者が共通の理解と認識を持つことができる。
- ・ 将来、島と関わりを持って暮らそうとする若者が増える。そのことで青年団などの活動が活性化し、ひいては、地域の活性化につながる。

## 参加高校

大島海洋国際高校、大島高校、新島高校、神津高校、三宅高校、八丈高校

スポーツやゲームで島同士がつながる **レクリエーション！**

島の繋がりを作る大縄跳び！かくれんぼが心を通わす！夏の夜の肝試し！  
大島の海水浴！各島のバンドが集まる！

ディスカッションやアンケートを行う **シンポジウム** で伊豆諸島を見つめなおす。

高校生から考える島の将来！グループディスカッションで意見をぶつけ合い共有し合う！

アンケートでわかる島に対する若者の思い！各島のことを知ることができる！

自分の島を紹介することで自分の島を見直すチャンス！ これからの島を担う若者が生まれる！

### おもなスケジュール

2008年 4月	参加希望調査・アンケート調査
7月19～21日	大島海洋国際(大島)・大島高校は社会奉仕・準備期間
22日	各島から出島 新島・神津高校は大島に到着 海行き
23日	大島海洋国際(東京)・八丈・三宅高校は大島に到着 全体シンポジウム・レクリエーション
24日	大島から出島 新島・神津・高校は各島到着 大島海洋国際(東京)高校は東京解散
25日	三宅・八丈高校は各島到着

### 関連協賛

トヨタ財団地域社会プログラム [ 離島 ]: 助成対象

島嶼振興公社: 助成内定

大島町役場: 全面協力

ほっとセンター波浮: 宿泊協力

連絡先:【大島】大島海洋国際高校 森本(職員) 04992-4-0385